

授業改善等に関する報告書（2025年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学演習	安齋 利典 一色 ヒロタカ	大問Iから、回答者は欠席が全体と比較すると少なく、よく理解できたことが分かりました。 大問IIは、ほとんどが高評価であり、分かりやすい授業となったかと考えております。 大問IIIも、14, 15. の評価もややよく、総合的に満足していることも分かりました。 Q1. 12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・それぞれのゼミ活動についてよく知れた。 との回答があり、狙い通りの授業になったかと考えております。
生活環境学演習	大川 知子	3ヶ月間の授業、お疲れ様でした。10の研究室訪問を通して、ご自身のこれからのことを考えたり、改めてこの学科の学びの領域の広さを考えていただく機会になったのなら良かったです。 希望が通った方も、そうでない方も、3年次からの、また新たな出会いを大切に、引き続き頑張ってください。
生活環境学演習	加藤木 秀章 佐藤 健	いろんなゼミが見えてきたと思います。 これからも頑張ってください。
生活環境学演習	塩原 みゆき 滝澤 愛	研究室周りをを行い、来年度からのゼミを決めるという演習である。 10回の研究室周りで、自分の将来を見つめ直し、未来予想図をしっかりと描いてくれたと思う。
生活環境学演習	内藤 将俊 橘 弘志	10の研究室を巡り、様々な学びがあったことと思います。「住環境・建築」や「プロダクト」「アパレル・ファッション」「コミュニティ」の4分野の全てを体験したうえで各専門領域にすすめることがこの学科の特徴です。是非とも配属が決まった各研究室で専門的な活動に積極的に取り組んでみて下さい。
生活環境学セミナー	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 授業アンケートは回答者が少なかったのですが、なんとも言えないところがありますが、回答されたものに対してコメントさせていただきます。 大問Iから、予習復習に時間を費やしたが、欠席が多かったのが残念です。 大問IIは、全体に高評価で良かったです。 大問IIIも、全体に高評価でしたが、Q14. の「あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？」がやや低く、作品に自信が持てなかったのではないかと想像しております。
生活環境学セミナー	一色 ヒロタカ	本年度は、「模型づくりワークショップ」、「3館4館前広場の活用実験」、そして「田野倉集落でのフィールドワーク」という3つの活動に取り組んできました。授業時間外においても、各自が自主的にさまざまな活動に参加し、3つの活動を通して、多くの人たちと対話と協働をおこない、身の回りの小さな社会を、少し動かすことができたのではないかと感じました。特に田野倉の活動においては、空き家になった古民家をDIYでリノベーションすることや、空き店舗をマルシェ空間へ再生する設計を実施するなど、社会的に大きな成果をつくることができたのではないかと思います。次年度の履修生は、今年度の活動を引き継ぎ、更なるアップデートを図っていく予定です。
生活環境学セミナー	大川 知子	1年間に亘るゼミ活動、お疲れ様でした。前期は1名からしか回答がありませんでしたが、後期は6名の方々から回答を得ました。特に、「産学プロジェクト」では、正解の無い、手探りの内容ばかりでしたが、みなさん、力を合わせて、素晴らしい内容に昇華してくれたと思います。来年度の卒業研究にも期待しています。
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	学修は楽しいです。いろんなことにトライしていきましょう。
生活環境学セミナー	佐藤 健	お疲れ様でした。それぞれが、今後活躍することを期待しています。
生活環境学セミナー	塩原 みゆき	ゼミ生の半分がアンケートに答えてくれたが、答えた学生全員が、この研究室で研習したいと答えてくれたのは大変嬉しい。
生活環境学セミナー	滝澤 愛	回答者なし。
生活環境学セミナー	内藤 将俊	スプリングスクールでの建築設計に始まり、コーリアンによるプロダクトデザイン、研究室やライブラリーの設計施工、さらには光の庭など、極めて創造性が高い課題に必死に取り組んで下さいましたね。すごい速度で実力が身についていると思いますよ。引き続き、卒業研究などで「情熱とこだわりを持って独創的なものを創造する」ことにみんなでチャレンジしていきましょう！

[2025 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学セミナー	楳 究	このセミナーの授業は、チームでの活動が多く、それが良くも悪くも授業評価に影響したと思います。少しずつ少しずつチームワークというものが醸成されつつあるかなと思いますので、それを4年生での活動に繋がられればと思います。
テキスタイル材料学	加藤木 秀章	日常で家庭で繊維を扱うことがほとんどです。意識するとより学修効果が出ます。
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	今年度から2年生を対象にした実験実習になったが、これまでと内容は変わらないのに、レポート作成ができない学生が何人もいて、対応に苦慮した。これまでになかった経験だったので、今後は気になる。
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	これまでと同じ3年生に対する実験実習であり、特に、学生がレポート作成を苦手とすることもなく、十分に理解してもらったと思う。来年度から2年生に対する実験実習になるが、教える側が不安を感じる。
生活環境科学	塩原 みゆき	ほぼ満足できる内容であったと理解している。後半でグループワークを行い、プレゼンを行ってもらったが、学生の希望として、もっと双方向の授業に！ということだったので、さらに工夫をしていきたい。
立体裁断	江尻 靖	アンケートの回答はありませんでしたが受講生の皆さん全員が熱心に取り組んだ姿はとても印象に残りました。習熟度に関しても授業の回数を追うごとに手つきが慣れ、出来上がりの完成度も着実に上がっていきました。少なくとも”ドレーピングに慣れる”というクラスの目標は全員達成できたのではないかと考えています。私の反省点としては最終課題のジャケットを完成まで導くことが出来なかったこと、個別の指導も手直しに終始し効果的なアドバイスを与えられなかったことが挙げられます。受講生の皆さんにはフラストレーションを感じさせてしまったかもしれません。課題内容の難易度、時間配分を見直し、フラットな布がボディの上で立体的な形になっていく楽しさ、完成した時の喜びといったものが得られるように授業を工夫していきたいと思えます。
アパレルCAD a	江尻 靖	このクラスではCADの基本操作と各種原型をCADで製図できるようになることを目標としました。原型の製図は数値での指示になりますが数値を覚えるよりもなぜその数値で引くのかいうことを理解できるようにボディを計測したりボディ上でのシーチングの動きを見てもらって理解が深まるようにしました。説明や資料は”分かりやすく”を第一に心がけましたが十分に練習していなかった点もあり次回の授業では工夫したいと考えています。受講された方がCADを使って”パターンができた”という喜びや達成感が得られるような授業を目指していきたいと思えます。
アパレル生産	大川 知子	3ヶ月間、1限の授業で大変だったと思いますが、前向きに取り組んでいただき、こちらも有り難かったです。特に、展示会や展覧会の見学への反響は大きかったと同時に、みなさんに提出いただいたレポートは、胸を打つものが多かったです。 いよいよ、大学生活も折り返します。引き続き、頑張ってください。
マーケティング論	大川 知子	3ヶ月間の授業、お疲れ様でした。今回、他学科のみなさんも参加してくれて、グループディスカッション等も、例年よりも多様な意見交換ができたように思います。取り上げたい事例は沢山ありましたが、時間の関係で絞らざるを得なかった為、その辺りは来年度に向けて、ブラッシュアップさせていただきます。 貴女が手に取った商品には、それを生み出した企業の、どのような戦略を背景にして考えられているのか、これまでとは異なる視点から、冷静に物事を見ることが出来るようになったとするならば、この授業の目的は達成出来たと思えます。引き続き、良い学びを続けて下さい。

[2025 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
プロダクトデザイン演習 a	安齋 利典	<p>授業を受けていただきありがとうございます。 大問Iでは、全体と比べて欠席はやや多かったが、予習復習時間がやや多く、理解も平均をやや上回ったことがわかります。 大問IIはQ9. の授業資料は、あまりわかりやすくなかった様で、残念です。 大問IIIも、全体にあまり高くない評価となりました。 その中でも、Q13. この科目(系・分野)をさらに学びたいと思いませんか?がやや高い評価であったことから、少なからずプロダクトデザインを学びたいという学生がいることがわかりました。 また、Q12では「プロダクトデザイン論で学んだ知識を生かして、実際に製品を制作する過程を、実際に経験しながら学ぶことができた。」や、「2限連続の講義だったので、制作も時間をかけて、中途半端に終わることなく取り組めたことが良かったと思います。自分で設計して模型を作る経験を初めてして、とても良い機会になりました。」という前向きな意見もいただき、安心しました。</p>
福祉住環境論	橋 弘志	<p>今年も月曜の1限ということで、毎週朝早くからお疲れさまでした。この授業では、社会的弱者の救済という「福祉」という言葉のもつ既成概念から脱し、いかに自分たちに身近な問題なのか、自分たちの生活に直結する課題なのか、について考えることを基盤としています。その上で、そうした生活の質を支えるための環境(物理的環境も社会的環境も)の重要性について、深く検討/議論してもらえることを期待しています。</p>
建築デザイン論	内藤 将俊	<p>本講義は、実空間の設計施工に向けた知識や技術の修得に加え、住宅や建築写真、家具、照明、構造、公共建築、デジタルデザインなどの分野で、日本や世界で活躍しているトップランナーの先生方にご協力をいただき、プロとしての実践を皆さんにお伝えすることに主眼を置いてきました。、皆さんに学びを実感していただけたように感じます。今後は、皆さん自身が各分野で活躍できるよう、積極的に挑戦してみてください。</p>
生活空間設計製図 1	内藤 将俊	<p>初めての本格的な建築設計作業であったと思います。さらに、本年度から2年生後期の講義となったにも関わらず、多くの方々がスタディ模型や図面を用意し、積極的にエスキスに取り組んで下さいました。みなさんが最終提出物の作成に苦戦されたでしょうが、素晴らしい作品が非常に多く見受けられました。是非とも生活空間設計製図II、IIIでも引き続き積極的に取り組んでください。</p>
生活空間設計製図 2	橋 弘志	<p>設計製図2は、課題に求められる内容がかなり複雑になります。与えられたプログラムに沿って緻密に考えること、利用者の視点になってきちんと必要な機能を満たすこと、周辺環境に対する影響を考えること、その上で従来とは異なる新しい空間体験・価値が得られること、建築全体としての完成度と魅力を高めるなど、多様な視点からデザインに取り組む必要があります。2名の教員が、それぞれ異なる視点でコメントすることも多いですが、それは一つの物差しだけで決めつけるのではなく、評価の幅を広げることが意図しています。それを次のステップに繋げてくれることを期待しています。</p>
コミュニティデザイン論 a	一色 ヒロタカ	<p>本授業は、総合デザイン領域・コミュニティデザイン分野における入口となる座学でした。まちづくり・建築などを軸におきつつ、総合的なデザイン視点を持った取り組み事例をもと、各事例を読み解いていきました。私一人では捉えきれない多くの事例を履修生で協働するかたちで収集したり、または、学内でのマスキングテープを用いたプレイスメイキング課題などの実践など、座学を中心としながらも学生同士による集合知や協働といった、人が集まり、そこに関係性を生み出すことを授業内でも意識できるようなカリキュラムを試みました。協働することの価値を、学生自身も見出すことができたのではないかと思います。</p>
アパレルデザイン総合実習	磯崎 明美	<p>本演習では、特に「布地の厚み・物性」と「パターン作成・縫製」との関係に重点を置いた結果、履修者はジャケットの構造とともに素材の扱いについて十分な理解を得られたと考えられます。一方で、製作したジャケットは工程数が多い作品であるため、製作経験の少ない履修者にとっては時間外の自習も容易ではなく、製作時間の不足が課題として残りました。今後は、受講生によるアンケートで寄せられた時間配分に関する意見を参考に、現行の計画を維持しつつも作業工程の簡略化を図り、演習時間内にゆとりを持たせる方策を講じます。履修者の皆様には、引き続き縫製技術や衣服の役割に対する思考・創造性を育み、豊かな生活を支える衣服の知識を深く探求されることを期待しております。</p>
生活機器設計演習	安齋 利典	<p>授業を受けていただきありがとうございます。 大問Iでは、全体と比べて欠席はやや多かったが、予習復習時間がやや多く、理解も平均をやや上回ったことがわかります。 大問IIは、6. のスピードの評価が低いのは、課題が3つあり、確かに忙しかったからだと思います。それ以外は高評価であり、分かりやすい授業となったかと考えております。 大問IIIも、15. の満足度や16. 意欲的な取り組みなども高評価であり、意欲的に取り組み、総合的に満足していることもわかりました。 Q1. 12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、「アイデア発想をしてそれを形にする力が身についた。」や「新しく使った機械や、取り組みが多く、勉強になりました。」との回答があり、狙い通りの授業になったかと考えております。</p>

[2025 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
デザインワークショップ	内藤 将俊	<p>本講義は、建築・インテリア構法の発展版として、木造や鉄骨造、鉄筋コンクリート造について、それらの施工手順を理解したうえで構造的な特性などについて修得すること、そして、木造については、軸組み図やモデルの作成、さらには、壁量計算を修得することで、各自が木造2~3階建ての住宅を完全に設計できるまでに技術を向上させることに主眼を置いています。極めて高度な内容でしたが、前向きに取り組んで下さったと思います。とりわけ、軸組みモデルの完成度が非常に高く、各々の努力が十分に伝わってきました。</p>
インテリアコーディネート論	山口 照也	<p>manaba授業アンケートは、回答者が27/46人 (58.7%) でしたが謙虚に受け止めて次のようにコメントします。</p> <p>①「成長実感の記述」と「自由記述」に12点のコメントがありました。「知識が身についた」「理解が深まった」「どんな効果があるのか、何を改善した方がいいのか日常的に考えるようになった」等、好評価のコメントが多かったのですが、意見が1点ありました。「オンデマンドでも代用可能な講義よりかは、ワークシートを行う時間があつた方がいい」という意見です。時後学修になっているワークシートを授業中にやって欲しいという要望だと思いますが、この科目の予習復習時間は大学全体平均よりも少ないようなので、時後学修で実施して欲しいです。</p> <p>②「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」は当該区分平均や全体平均より少なくなっていますが、授業中の実態と差があるようです。「予習復習時間」は昨年度より少なくなり、全体平均よりも少なくなってしまっています。「理解度」は昨年度より高くなっていますが、当該区分と全体平均より低くなっているのが問題です。「予習復習時間の少なさ」が原因と考えられます。</p> <p>③「この授業の内容と方法について」の各項目は、昨年度より良くなっているものの当該区分平均や全体平均より悪いです。原因の1つが「昨年度からの原則配布プリント無し」のような気がしますが、「建築士受験資格該当科目」としての内容を守りつつ、改善方法も検討してみます。</p> <p>④「全体について」では、昨年度より良くなっているものの、ほとんどが当該区分平均や全体平均より低い状態です。インテリアコーディネーター資格試験の受験予定割合が低くなっていることも関係していそうですが、「授業方法」との関係があるはずなので再検討していきます。</p>
インテリアデザイン演習	山口 照也	<p>manaba授業アンケートは、回答者が16/24人 (66.7%) で、3年生前期授業時の57.1%より高く、3時限授業の38.1%より高かったです。謙虚に受け止めて次のようにコメントします。</p> <p>①「成長の実感の記述」と「自由記述」に8点のコメントがありました。「様々な視点からインテリアエレメントを考えて実際に表現する力が身についた」「理解が深まった」「作る際に気をつけるべき点を学べた」「アイデアを形にすることができた」「レポート課題より作業時間が楽しかった」等、好評価のコメントが多かったのですが、「先生の主観と事実、生徒たちの主観を別物として捉えて欲しい。先生的にはこれは気持ちが良いものではないというデザインを事実を含んだ理由を込めて教えて欲しい」という意見がありました。計画内容や図面表現はできる限り客観的に見るように努めているのですが、デザインなので主観的意見を言うてしまうことがあります。基本は学生が実現したい事に対する計画的な助言や方法の助言なので、納得できなければ受け入れる必要はなく、助言を強制しているつもりはありません。計画力は人それぞれで、様々な視点を許容すべきと思っていますが、図面表現力での指摘は主観的ではなく客観的なので、指摘しても改善されていない学生が多いので、計画と表現に分けて考えるようにしてもらいたいです。私の助言の口調や態度に問題があるのであれば善処します。</p> <p>②「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」は一昨年度より多くなり、当該区分平均と全体平均より多いので悪い傾向です。「予習復習時間」は昨年度より多くなっていて、当該区分平均や全体平均より多いので良い傾向です。「理解度」が一昨年よりわずかに下り、当該区分平均と全体平均より悪くなっている状態です。半期前倒しの影響が出ているように思います。図面関係の断面詳細図の理解度はやむを得ない部分もありますが、平面図や断面図、三面図の一般図は指摘してフィードバックしても改善してくれない学生が多い事にも関係しているように思います。</p> <p>③「この授業の内容と方法について」では、「シラバスとの一致性」「スピードの適切性」「説明のわかりやすさ」「双方向授業の工夫」「担当教員の声や言葉の聞き取りやすさ」は一昨年度と当該区分平均や全体平均より悪い結果でした。建築士受験資格該当科目ではありますが可能な範囲で、2年生後期の授業との位置付けでもう一度考え直してみます。</p> <p>④「全体について」の項目で、「成長実感度」は昨年度より高くなりましたが、「授業満足度」は一昨年度と当該区分平均や全体平均より低くなってしまいました。manabaへの講義資料掲載のみで配布プリントを無くしたことも原因と考えられます。建築士受験資格該当科目ではありますが可能な範囲で、2年生後期の授業との位置付けでもう一度考え直してみます。</p>

[2025 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
インテリアデザイン演習	山口 照也	<p>manaba授業アンケートは、回答者が12/31人 (38.1%) で、3年生前期授業時の57.1%より低く、4時限授業の66.7%より低かったのですが、謙虚に受け止めて次のようにコメントします。</p> <p>① 「成長の実感の記述」と「自由記述」に8点のコメントがありました。「現状から改善まで模型や図面で考えて作る能力が身についた」「理解が深まった」「現状分析で課題を見つけ、使いやすいデザインを考える力がついた」「新しい考え方が身についた」等、好評価のコメント以外に改善要望が3点ありました。「1. 課題の出来だけを見られ、今までの先輩方との作品と比べたり、A評価なんていませんなどと生徒のやる気を削ぐような発言があり、不快だと感じる生徒もいたため改善していただきたい」「2. 学生評価に影響しないようにコメントすると言いつつ、影響するコメントをしていた」「3. 先生の態度や授業の目標の不明確さが顕著であり、それにより学生を不快に思わせることが多々見られたため、その点は十分に改善して欲しい」という指摘、改善要望です。今回のような厳しい意見を受けたのは初めてで、私の意図と違った受け止められ方をしている事への気づきもあったので善処しますが、それぞれの背景をコメントさせてください。1. は本年度から半期前倒しの授業時期になった事で、製図力の伸び悩みを過去作品との比較を意識し過ぎたようです。manaba提出結果を見て「現時点で図面表現力のA評価はいません」とコメントしましたが、「全体成績ではなく図面表現力に限った現状評価」で、「プレゼンまでにブラッシュアップできるの頑張ってください」という思いも込めていました。2. はプレゼンテーションでの発言ですが、manaba遅延提出者は12人/29人 (41%) で、内、未提出者 (=映像ナンプレゼン実施者+未提出者) が8人/29人 (27%) の状況からコメントしてしまったようです。提出図面を見ると努力と手抜きが見えるので「学生評価では私の講評は気にしないでください」と言うべきでした。</p> <p>3. は改善指摘が長文で、課題Ⅱのスタート時点から進め方やプレゼンテーションまでの多岐に渡っており、私の意図とは違った受け止められ方も多く見られるのですが、善処していきます。計画内容や図面表現はできる限り客観的に見るように努めているのですが、デザインなので主観的意見を言ってしまうことがあります。基本は学生が実現したい事に対する計画的な助言や方法の助言なので、納得できなければ受け入れる必要は、助言を強制しているつもりはありません。計画力は人それぞれで、様々な視点を許容すべきと思っていますが、図面表現力での指摘は主観的ではなく客観的なので、指摘しても改善されていない学生が多いので、計画と表現に分けて考えるようにしてもらいたいです。私の助言の口調や態度に問題がある部分は善処します。</p> <p>② 「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」は昨年度より多くなり、全体平均より多いので悪い傾向です。「予習復習時間」は昨年より多くなっていて、当該区分平均や全体平均より多いので良い傾向です。「理解度」が一昨年より大きく下り、当該区分平均と全体平均よりかなり悪くなっていました。半期前倒しの影響が出ているように思います。図面関係の断面詳細図の理解度はやむを得ない部分もありますが、平面図や断面図、三面図の一般図は指摘してフィードバックしても改善してくれない学生が多い事にも関係しているように思います。</p> <p>③ 「この授業の内容と方法について」では、「シラバスとの一致性」「スピードの適切性」「説明のわかりやすさ」「双方向授業の工夫」「担当教員の声や言葉の聞き取りやすさ」は一昨年度と当該区分平均や全体平均より悪い結果でした。建築士受験資格該当科目ではありますが可能な範囲で、学生からの改善要望を踏まえ、2年生後期の授業との位置付けでもう一度考え直してみます。</p> <p>④ 「全体について」の項目で、「成長実感度」と「授業満足度」は一昨年度と当該区分平均や全体平均より低くなってしまいました。manabaへの講義資料掲載のみで配布プリントを無くしたことも原因と考えられます。建築士受験資格該当科目ではありますが可能な範囲で、学生からの改善要望を踏まえ、2年生後期の授業との位置付けでもう一度考え直してみます。</p>